

中央区内景气动向调查

平成 27 年 10 月調査結果

平成 27 年 11 月 20 日

中央区

総 括

平成 27 年 10 月の動き

中央区内における 10 月の現状判断 D I は合計で 50.0 と、前回調査から横ばいとなっている。景気の先行き判断 D I は合計で 49.0 と前回調査から 7.5 ポイント低下している。

図表 景気の現状判断 D I、先行き判断 D I (合計)

(D I)	平成27年			前回調査
合計	6月	8月	10月	からの変化
現状判断 D I	51.5	50.0	50.0	(0.0)
先行き判断 D I	54.5	56.5	49.0	(-7.5)

目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

調査の概要

1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した 50 人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) の理由
- (3) (2) の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4) の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4 調査月及び調査期間等

調査月は年 6 回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約 1 週間で、平成 27 年 10 月調査の調査票発送は 10 月 8 日（木）、回答期限は 10 月 19 日（月）である。

5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

6 有効回答率

調査客体 50 名に対し、有効回答客体は 48 名、有効回答率は 96.0%であった。

7 DI の算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する 5 段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DI を算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

1 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての中央区内における現状判断DIは合計で50.0と、前回調査から横ばいとなっている。分野別にみると、家計動向関連DIは52.2と、前回調査から0.8ポイント低下し、企業動向関連DIは48.0と、前回調査から1.0ポイント上昇している。構成比では、「変わらない」と回答した人の割合が18.6ポイント増加し、「やや良くなっている」と回答した人の割合が11.2ポイント減少した。

図表1-1 各分野における景気の現状判断DIの推移表

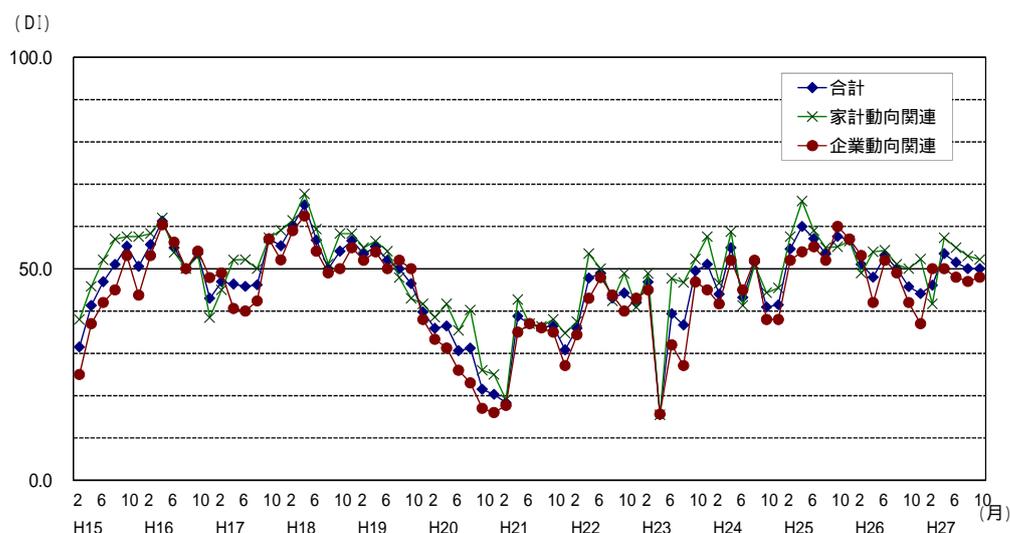
(DI)	平成27年			
	6月	8月	10月	(変化幅)
合計	51.5	50.0	50.0	(0.0)
家計動向関連	55.0	53.0	52.2	(-0.8)
小売関連	50.0	50.0	50.0	(0.0)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	60.7	57.1	54.2	(-2.9)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	48.0	47.0	48.0	(1.0)
製造業	46.4	53.6	45.8	(-7.8)
非製造業	48.6	44.4	48.7	(4.3)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表1-2 構成比

年	月	良く	やや良く	変わらない	やや悪く	悪く
		なっている	なっている		なっている	なっている
平成27年	6	2.0%	28.0%	48.0%	18.0%	4.0%
	8	0.0%	30.0%	46.0%	18.0%	6.0%
	10	0.0%	18.8%	64.6%	14.6%	2.1%
(変化幅)		(0.0)	(-11.2)	(18.6)	(-3.4)	(-3.9)

図表1-3 各分野における景気の現状判断DIの推移



2 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の中央区内における景気の先行き判断DIは合計で49.0と前回調査から7.5ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連DIは53.3と、前回調査から5.7ポイント低下し、企業動向関連DIは45.0と、前回調査から9.0ポイント低下している。構成比では、「やや良くなる」と回答した人の割合が13.2ポイント減少し、「悪くなる」と回答した人の割合が6.3ポイント増加した。

図表2-1 各分野における景気の先行き判断DIの推移表

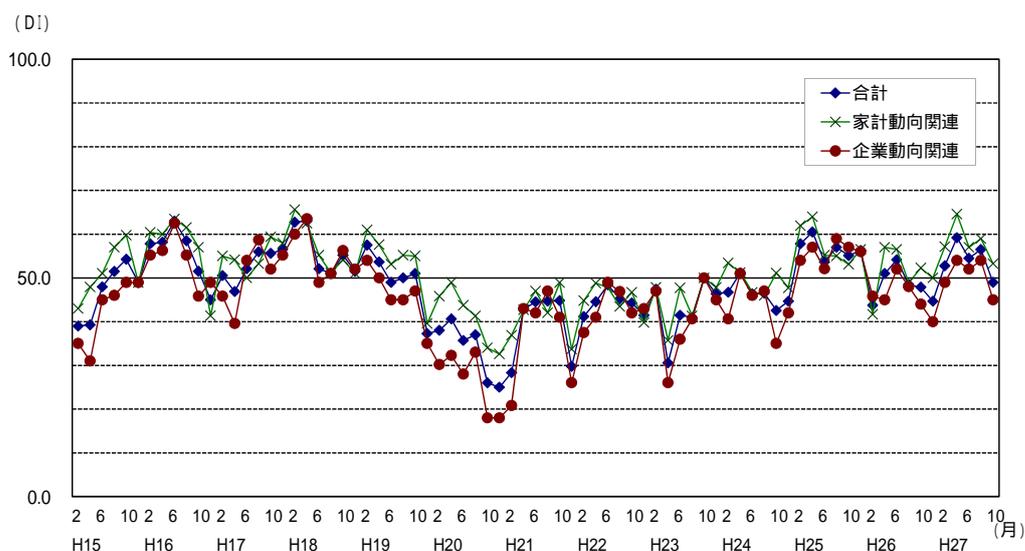
(DI)	平成27年			
	6月	8月	10月	(変化幅)
合計	54.5	56.5	49.0	(-7.5)
家計動向関連	57.0	59.0	53.3	(-5.7)
小売関連	51.9	57.7	47.9	(-9.8)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	60.7	60.7	58.3	(-2.4)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	52.0	54.0	45.0	(-9.0)
製造業	57.1	57.1	45.8	(-11.3)
非製造業	50.0	52.8	44.7	(-8.1)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表2-2 構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
		平成27年	6	2.0%	32.0%	54.0%
	8	2.0%	34.0%	52.0%	12.0%	0.0%
	10	2.1%	20.8%	54.2%	16.7%	6.3%
(変化幅)		(0.1)	(-13.2)	(2.2)	(4.7)	(6.3)

図表2-3 各分野における景気の先行き判断DIの推移



3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表 3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

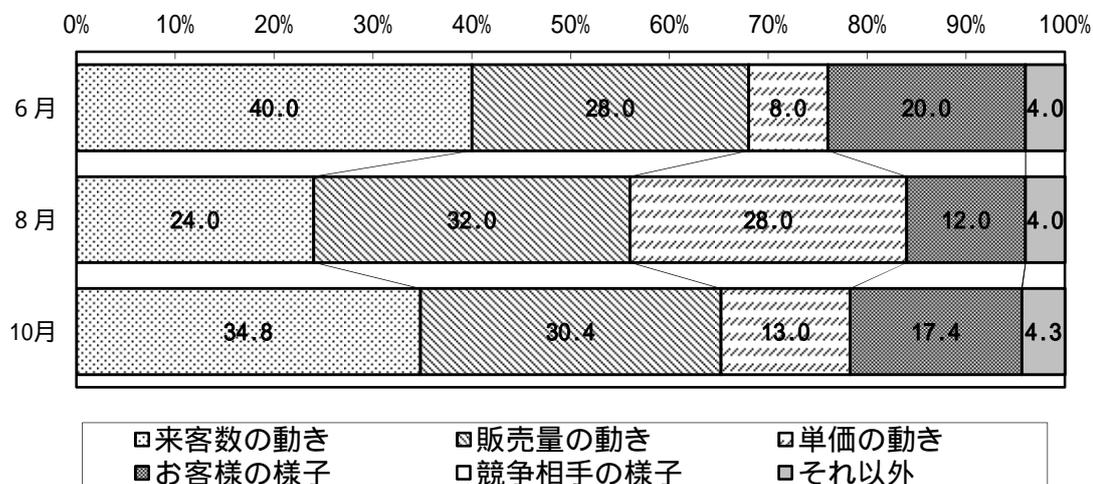
(D I)	平成27年		
	6月	8月	10月
合計	50.5	48.0	47.4
家計動向関連	54.0	56.0	50.0
小売関連	51.9	55.8	45.8
飲食関連	-	-	-
サービス関連	60.7	60.7	54.2
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	47.0	40.0	45.0
製造業	42.9	46.4	50.0
非製造業	48.6	37.5	43.4

（備考）家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

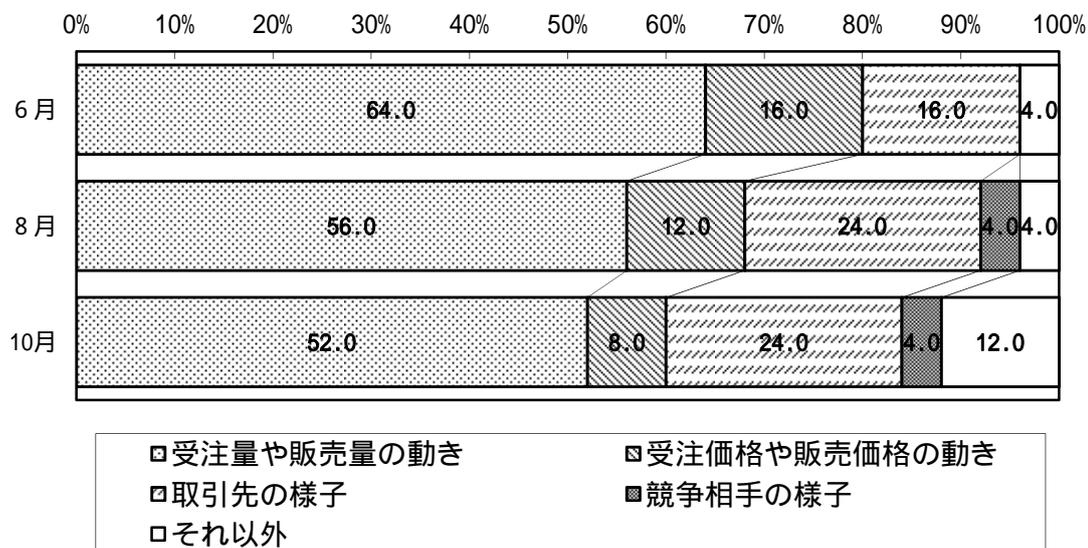
（注）景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

4 (1) 景気の現状に対する判断理由着目点

家計動向関連



企業動向関連



注) 本グラフは景気の現状に対する判断理由着目点の構成比を示している。
割合が0%の場合、数値は表記していない。

4 (2) 景気の現状に対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなる	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・高額品やインバウンド需要の増大が持続したことに加え、紳士、婦人雑貨等が好調に推移している。
		衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・訪日外国人売上が前年の倍になり、相変わらず好調である。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・買上客数が回復傾向にある。悪い時は60%を下回っていたが、70~80%になってきている。売上はまだ厳しいが、客単価も安定してきている。
		高級レストラン(副店長)	来客数の動き	・予約件数が増えており、単価も良くなっている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・前年同時期に比べ、売上が向上している。
	変わらない	一般小売店[文具](販売担当)	来客数の動き	・中国人観光客は減っているものの、欧米などの外国人観光客は多く、買上率も高い。
		百貨店(総務担当)	それ以外	・マスコミ等で報道される景気の足踏み感等を意識する場面はあまりない。国内外の客共に堅調である。
		スーパー(店長)	単価の動き	・商品、原材料の高騰により、前年と比べて販売価格が上がっているが、1人当たりの買上点数は上がっておらず、前年比98%程度である。
		高級レストラン(経営者)	お客様の様子	・秋は様々な食材が多く出回り始め、気温の低下とともに鍋物等の注文が増加する。したがって、飲酒の量も増すようになる。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・8月は例年忙しいが、6~7月は暇なのでトータルすると今と変わらない。9月はシルバーウィークがあったので忙しかったが、それ以外は暇である。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・主要商品である高速通信サービスの加入数の増加が夏以降あまりみられない。
		その他レジャー施設(経営者)	来客数の動き	・当業界では現役の客が少なくなり、OBや年金生活の客が多くなった。あまり景気に左右されない客だが、長い目でみると年齢的に先細りは確実である。
	やや悪くなっている	一般小売店[食品](店長)	販売量の動き	・シルバーウィーク前後、多少買い控えの傾向が感じられる。
		スーパー(店長代行)	販売量の動き	・来客数に変化は少ないが、買上点数が減少しており、売上に影響している。
悪くなっている	-	-	-	-
企業 動向 関連	良くなる	-	-	-
	やや良くなっている	印刷業・製本業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は前年比プラス10ポイント、四半期ベースでも、前年と比べてプラスとなっている。
		建設業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・仕事量が多く、技術者不足により工事を辞退している。
	変わらない	出版業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・販売量の上昇は相変わらずみられない。一般家庭の生活が楽になっているようには思えず、本に使うお金までは余裕がないようである。
		通信業(営業担当)	取引先の様子	・取引先の民需企業は、様子見、守りに入っているところが大半であり、上向いてはいない。
		金融業[証券](営業担当)	取引先の様子	・クライアント企業の状況を見る限り、昨今の中国問題による直接的な動揺はさほど感じられない。その反面、ここ数年のアベノミクスによる景気浮揚によるプラス効果も、あまり感じられない。
		卸売業[機械器具](営業担当)	受注量や販売量の動き	・夏の受注が少なく、9~10月の売上が上がらない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中央区内のどの商店街も人通りが変わらず、売上も変化がないようである。
		その他サービス業[ビルメンテナンス](営業担当)	それ以外	・受注量は増加しているが、利益率の低いものがほとんどであり、収支悪化の要因の1つでもある。
		出版業(経営者)	それ以外	・街の様子から、ビジネスマンは仕事量の多さの割に成果が上がらず、疲れ切っている。昼の電車ではパート勤めらしき女性が浮かぬ表情をしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		印刷業・製本業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量も減少しているし、1つの物件が細かくなっている。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量、売上が前年同月に比べ減少している。
		卸売業[機械器具](経営者)	取引先の様子	・徐々にメーカーからの発注量が少なくなってきた。
	悪くなっている			

4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	通信会社(営業担当)	・年末商戦に期待できる。
		百貨店(総務担当)	・免税販売額は引き続き好調で、売上を伸ばしている。
		スーパー(店長)	・インバウンド需要が高くなってきている。中国人観光客以外の外国人観光客も増加傾向にある。
		衣料品専門店(店長)	・来客数の回復が続く。試着する客が増えてきており、良い傾向ととらえている。
		高級レストラン(経営者)	・年末は宴会等の予約が入り、大きな客室は約1か月前には80%以上が埋まってくる。また、その流れから少人数席も良くなってくる。
		高級レストラン(副店長)	・年末年始の宴会の予約受注も好調である。
	変わらない	一般小売店[文具](販売担当)	・中国の景気減速に伴う株価の下落などから、景気が良くなる要素がない。
		一般小売店[食品](店長)	・国内外の状況からして景気の向上が望めないような雰囲気強い。
		百貨店(広報担当)	・おう盛なインバウンド需要は、好調な勢いそのまま続くと感じている。
		百貨店(総務担当)	・年末商戦に向かい、この流れは変わらず。
		百貨店(業務推進担当)	・特別な招待会やセールでの販売が多く、日々の売上が安定しないため、景気が良くなるとはこの先も思えない。
		スーパー(店長代行)	・2~3か月前から来客数や単価、点数にそれほどの変化もなく、今後も同じ状況が続く。
		一般レストラン(経営者)	・来客の時間が重なり、多くの物品が売りにくく、単価の動きからは客の懐の固さがみられる。また、現在は客より観光目的の人の方が多い。
		一般レストラン(経営者)	・先のことは分からないが、今の状況と変わらないのではないかと。平日は暇だが週末は相変わらず忙しいので、2~3か月先は今と同じような気がする。
		都市型ホテル(広報担当)	・良くなる、または悪くなるという予兆が感じられない。
		旅行代理店(支店長)	・周辺企業からのJR、航空券の受注自体が減少しており、この状況が2~3か月で一気に好転するとは思えない。
		通信会社(営業担当)	・こここのところ、経済が回復傾向にあるといわれているが、社会全体に変化を与えるような要素がみられない。
		競馬場(職員)	・大きく変化する要因が見当たらない。
		その他レジャー施設(経営者)	・客層が前年と変わっていないので、例年どおり大きな変化はなく、前年並みの売上は確保できる。
設計事務所(所長)	・今後の景気が予想がつかず、ここしばらくは同じ状態が続く。		
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	一般小売店[靴](店長)	・中国経済の不振、株価の下落、アベノミクスの不振から、やや悪くなる。	
	一般小売店[和菓子](経営者)	・中国の景気減退が日本にも影響する。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		印刷業・製本業(営業担当)	・これから年末、年度末に向けて前年並みか、それ以上の受注を見込んでいるので、向こう3か月は良くなる方向で進んでいる。
		印刷業・製本業(経営者)	・見積等、引き合いが増えている。
		卸売業[飲食料品(鮮魚)](経営者)	・希望ではなく、これ以上は悪くならない。
		卸売業[機械器具](従業員)	・公共事業の競争環境は厳しさを増しているが、発注がこれから増えてくるので、期待している。
	卸売業[機械器具](営業担当)	・年末までの受注残が多少ある。更に年度末に向けて受注量が徐々に増えていくと予想される。	
	変わらない	新聞業(営業担当)	・企業の広告出稿意欲に高まりがみられない。今夏のボーナス商戦に盛り上がりが見られず、今冬の同商戦にも大きな期待はかけられない。
		建設業(営業担当)	・年末になると工事が落ち着いてくる。
		建設業(経営者)	・ホテル、小売等は良くなるだろうが、建設業界は当分このままで推移していく。
		通信業(営業担当)	・良くなる条件がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業〔証券〕（営業担当）	・中国の実質的な減速傾向をはじめ、難民受入にかかる各国の不協和音、更にドイツの自動車メーカーや大手電機メーカーの不祥事といったようにネガティブな要素は相応にあるものの、目先で大きくマイナスに振れるものではないように感じている。
		不動産業（企画担当） 経営コンサルタント	・住宅販売価格やビル賃借料等が高止まりしている。 ・ハロウィンなどのイベントをどの商店街も行い始め、集客が分散しているようである。中央区内では集客が多いところは引き続き多く、それなりのところはそれなりに推移する。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・企業規模や業種による業績格差や、それに伴う個人の所得等の格差が広がり、景気回復を実感できていない。
	やや悪くなる	出版業（経営者）	・経済成長をけん引する要因が見当たらない。
		出版業（営業担当）	・内閣改造がされたが、アベノミクスの矢はどこかに飛んでいってしまったのか、目立った経済政策がない。株価も以前のような勢いが無い。
		印刷業・製本業（営業担当）	・一時的なアベノミクス効果はなくなり、減少している。案件数も少なくなっているため、将来的な不安もある。
		建設業（営業担当）	・新規発注が少ない。
		輸送業（従業員）	・各得意先の話からも、仕事量の増加の見込みが少ない。
		通信業（営業担当）	・企業の投資が鈍ってきていることから、その影響が出てくる。
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	・取引先各社とも、先の見込みは少しずつ悪くなるとの話である。
その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当）	・植物管理の仕事が夏場より減るため、やや悪くなる。		
悪くなる	卸売業〔繊維・衣服等〕（営業担当）	・9～10月は秋物が大きく動く時期であるが、その時期に売上が厳しいということは、今期の秋物商戦の状況は悪いと思わざるを得ない。	

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	13
	商店街・一般小売店	4
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	4
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	0
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	0
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	7
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	2
	通信会社社員	2
	レジャー施設関連	2
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	1
	その他サービス	0
	美容室経営者・従業員	0
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	1
	設計事務所所長・職員	1
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	6
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	6
	新聞業	1
	出版業	2
	印刷業・製本業	3
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	19
	建設業	3
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	1
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0